

立命館経済學

第62卷 第1号

2013年5月

内 容

論 説

- 満洲事変をめぐる列強の態度と国際公議の醸成……………黄 自 進 1
- ケインズの委員会証言
——1924年から25年にかけての時期の3つの委員会での証言を中心に——
……………松 川 周 二 23
- Industrial Agglomeration and Dispersion in Gate and Hinterland Regions
……………汪 鄭 小 健 平 39

翻 訳

- 「僕が目撃したサンフランシスコ大震災」……………辻 井 榮 滋 61
- 「環境と金融」に関する論稿を読む(2)……………越 田 加代子 67
- 2012年度博士課程前期課程（修士）論文名一覧…………… 79
- 学位論文審査報告
- 張 敏『Market Participation Pattern and Its Impact on Household Income:
The Case of Apple Farmers in Shaanxi Province, China』…………… 80
- 呉 蕾『Determination of Urban Land and Housing Prices in China and Japan』… 86
- LIU SHENGNAN『中国証券市場に関する実証研究
——投資家行動と価格変動を中心に——』…………… 91

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第61巻・第5号

藤岡 惇教授退任記念論文集

藤岡惇教授退任記念論文集の刊行にあたって……………	松原 豊彦	1
論 説		
「平和学」の体系化に向けた一考察……………	池尾 靖志	3
——国際関係論からのアプローチ——		
脱近代的新階層の台頭と資本の自然適行的分散過程……………	伊藤 恵子	24
グローバル市場原理に抗する免疫的自律世界の形成……………	小貫 雅男	42
——21世紀の社会構想, その核心的思想と基本原理——		
モラル・サイエンスとしての経済学と徳の経済学(2): 価値前提, 論理, 経済理論の基礎, マクロ経済政策と産業政策(上)……………	小野 進雄	60
ドイツ世襲財産制史小論……………	加藤 房雄	109
——ウェーバー論再考——		
歴史的方法論與通往和解之路……………	金丸 裕一	119
社会主義, 20世紀の到達点から21世紀の構想へ……………	後藤 宣代	126
——藤岡惇論文「連帯社会とは何であったのか? その本質は『国家産業主義』だった ——大地・生産手段への高次回帰, 自由時間の拡大を指標に考える——」を手がかりに——		
シェアとシェアされた所有に関する社会経済学的考察……………	田中 宏	144
紙で森を元気に……………	谷川 佳子	158
——間伐材を製紙原料に活用する新しいトレードモデルについての一考察——		
アメリカにおける低所得コミュニティの開発と金融(上)……………	中本 悟	176
——CRA (1977年), CDFI ファンド(1994年), NMTC(2000年)を中心に——		
General Motors Corporation as an Armaments Producer……………	西牟田 祐二	186
環境保全型農業を実現するための堆肥循環の意義と課題……………	松田 文雄	216
——滋賀県のバイオマス資源を活用した良質の堆肥の安定的生産へ向けて——		
「計画」の20世紀……………	山井 敏章	235
——ドイツ近代史研究の再構築に向けて——		
「教育者」から「学習者」へのモードメイクとモードチェンジ……………	山口 洋典	250
——受け手から担い手へのリレーゾーンを駆け抜けて——		
Deployment of Industrial Engineering and the Ford System in Germany after World War II……………	山崎 敏夫	268
和平学視角下的中日和解……………	刘 成	297
研究ノート		
資本主義の「発展」を考える……………	石川 康宏	301
ブラジルのバイオ・エネルギー政策と社会的包摂……………	小池 洋一	316
翻 訳		
「環境と金融」に関する論稿を読む(1)……………	越田 加代子	332
藤岡 惇教授 略歴・研究業績一覧……………		351

発行者 立命館大学経済学会

立命館経済学 第61巻・第6号

角田修一 教授 退任記念論文集

角田修一教授退任記念論文集の刊行にあたって……………	松原 豊彦	1
論 説		
「市場経済をつうじる社会主義」と自由論……………	芦田 文夫	3
革命とは何か……………	揚 武雄	23
——「経済学批判」体系の meta-narrative ——		
後期マルクスにおける革命戦略の転換(1)……………	荒木 武司	50
「経営裁量権仮説と効率的交渉仮説」再考……………	大野 隆	72
モラル・サイエンスとしての経済学と徳の経済学(2): 価値前提, 論理, 経済理論の基礎, マクロ経済政策と産業政策(下)	小野 進	100
共助の包摂……………	佐藤 卓利	156
——社会保障としての国民皆保険制度——		
台湾における『ヨーロッパ言語共通参照枠』の受容……………	程 遠巍	172
アメリカにおける低所得コミュニティの開発と金融(下)……………	中本 悟	183
——CRA (1977年), CDFI ファンド(1994年), NMTC (2000年)を中心に——		
ヘーゲルのコルボラツイオン論……………	尼 寺 義弘	200
柴田敬の再生産論研究について……………	西田 淳	212
マルクス価値論と「新解釈」学派……………	橋本 貴彦	236
ヘーゲル論理学と『資本論』の方法……………	平野 喜一郎	254
マルクスにおける所有と労働……………	藤 本 義昭	283
——機能としての所有と自己関係としての労働——		
橋下改革の政治経済学……………	増田 和夫	301
社会主義における論争と方法論的問題: 規範理論の視点から……………	松井 暁	313
なぜ医療機関は医師が経営するのか……………	松尾 匡彦	331
金価値と金価格の動向とその理論についての考察……………	松本 貴朗	344
——最近のドイツにおける研究動向を参考にして——		
復興特区税制とその課題……………	宮本 十至子	360
社会経済学の課題……………	八尾 信光	374
America's Global Strategy and the Development of the Productivity Movement in Germany after WWII……………	山崎 敏夫	385
マルクスの社会主義論……………	山本 広太郎	410
角田修一教授 略歴・研究業績一覧……………		424
2012年度 経済学会研究会一覧……………		431
第61巻総目次(2012年度)……………		433

発行者 立命館大学経済学会